



## 新1年生と新6年生の笑顔

部長代理 勝木 茂

明るい陽射しの中、岩瀬キャンパスの木々の葉も一日一日と緑が鮮やかになってきました。4月6日（金）の始業式、9日（月）の入学式から約3週間が経ちました。



子どもたちは、新しい学年での生活にも慣れてきたようで、授業中に張り切って発言をしている姿やグラウンドで友だちといっしょに元気に遊んでいる姿をたくさん見ることができるようになりました。入学直後は多少不安そうな表情が見られた新1年生も、今はとても元気で明るい表情を見せてくれます。

「安心して初等部で過ごすことができる。」このことはとても大切なことです。もちろん初等部では、教師は「きめ細やかさ」「ていねいさ」を大切にしたい指導を心がけています。でもそのことにも増して新1年生が「安心して過ごすこと」ができているのは新6年生のおかげだと感じています。

新6年生は、入学式の前日（今年度の場合は4月6日）2年生～5年生が下校した後、先生と一緒に新1年生のために様々な準備をしてくれました。新1年生それぞれの教室の後部掲示板には、新1年生が喜んでくれるように「桜の木と花びらの飾り付けとにゅうがくおめでとうの文字」、教室の黒板には、これからの初等部での「学校生活が楽しくなるようなイラスト」、廊下の掲示板には、新1年生の学年名（すみれ）である「すみれの花と春らしいイラスト」新1年生が使うくつ箱にも「すみれの花やかわいいイラスト」、新6年生は、どれも一つ一つていねいに準備を

してくれていました。飾り付けの前後には、教室や廊下の掃除をし、新1年生が使う机もていねいに並べてくれていました。そして準備をしているほとんどの新6年生の顔は笑顔でした。この笑顔は、新6年生として頼りにされていることと、その信頼に応え、認められていることへの満足感からくるものだろうと思います。

また、新6年生は、毎日、新1年生のいろいろなお世話を自主的にしてくれます。始業前に新1年生の教室に行くと、ランドセルから必要な物をいっしょに取り出してくれたり、トイレに連れて行ってくれたりしている新6年生の姿があります。仲良く初等部グラウンドで遊んでくれている姿もあります。そして、手をつないで修養の鐘を教室で聞ける時刻に教室に戻って来てくれます。新1年生は、新6年生のお兄さんやお姉さんが大好きです。新1年生の笑顔は安心して初等部生活ができ、毎日が楽しいという笑顔だと思います。



もちろん、他の学年の子どもたちも新1年生が入学してきたことでよい影響が出始めています。一つ上の2年生は、生活科の時間に新1年生に「学校をあんない」をしようと準備をはじめています。新1年生は、子どもたちばかりではありません。新社会人になった人も含め、初等部1年生の先生も入ってきました。後輩が入ってきたことで職員室も活性化しています。このよい雰囲気をこれからも大切にしていきたいと感じています。